

赤穂市民病院新館がオープンしました

赤穂市民病院 43・3222

赤穂市民病院第二期基本構想

市民病院で平成10年2月に新市民病院を開設しました。開設から20年近くが経過し、診療科目の分化や増加などによる診療スペースの不足や、健診・人工透析部門のさらなる充実、津波等の自然災害への対応などの課題がありました。また、近年の医療技術や機器の進歩により、地域における中核病院として求められる機能が変化してきてきました。このことから市民病院における医療機能と課題点を改善するために、平成25年12月に「赤穂市民病院第二期基本構想」を策定し施設の増改築を推進してきました。

新館オープン

昨年3月から建設を進めてまいりました新館部分(増築施設)が、このたび、無事に竣工し、8月1日より診療を開始しました。

新館は鉄骨造4階建、延床面積は約6,500㎡で、1階にPET-CT装置を導入、2階は外来診察室、化学療法室、内視鏡室を拡充するとともに、3階には透析セン

ター、4階には健診センターを設置して、地域の皆さまのさらなる健康増進を図り、がん拠点病院としての機能を充実させることができました。

また、浸水対策として発電機室・電気室・備蓄倉庫を上層階に設置し、災害拠点病院としての機能も高めることができました。

今後の予定

平成30年4月のグランドオープンに向けて、手術室の改修や集中治療室の整備、血管造影装置等の増設のため、本館(既存施設)の改修に着手してまいります。

今後、地域住民の皆さまがいつでも安心して適切な医療を受けることができるように「院是」※のものと職員が一丸となって医療の質の向上に取り組んでまいります。

なお、改修工事期間中は皆さまにはご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をよろしくお願ひします。

最新鋭のPET-CT装置を導入しました

放射線部より

放射線部では、患者様に安全・安心に検査、治療を受けていただくため、新館オープンにあたり、従来の装置より低被ばくで検査可能な胃透視等を使用するX線TV装置2台を導入しました。また、心臓の検査等で使用し、高精度な医療情報を診療の場に提供できるSPECT-CT装置1台を更新し稼働しています。

また、以前は他施設でのPET検査で患者様に負担をおかけしていましたが、新規装置として最新鋭のPET-CT装置を導入し、当院でのPET検査が可能となりました。

この装置の導入により、検出感度の向上が図られ、最新の画像構成技術を用いることでより細かい病変に対しても診断が可能となりました。また、CTと組み合わせることでより正確な悪性腫瘍の位置情報の提供が可能となりました。



PET-CT装置

後、検査ベッド上での30分程度の全身撮影で終了する負担の少ない検査となっております。また、日本核医学専門技術認定機構(BNMT)認定の専門技師を配置し、より有用な検査に努めています。

患者様が安心して検査を受けていただけるようスタッフ一同日々心がけていますので患者様が疑問に思われることがあれば担当スタッフにお声かけください。



健診センター待合



皆さま一人ひとりが抱える健康面でのさまざまな不安や希望を「予防医学」という医療の側面からより快適に解決・実現するために、市民病院「健診センター」が新館での業務を開始し、その第一歩を踏み出しました。

健診センターは、新館4階にあります。環境に配慮した造りで、ガラス張りの待合からは赤穂市を一望することが出来ます。ゆったりとした時間のなかで、人間ドック、脳ドックをはじめプチ健診など様々な健診を受診することができ、ほとんどの検査が健診センター内で一括して実

健診センターをオープンしました

健診センターより

施できるようになりました。

今後皆さまの健康面でのサポートとして、「おもてなし」の心を大切に、精度の高い健診を提供できるよう取り組んでまいりますので、お気軽にお声かけください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

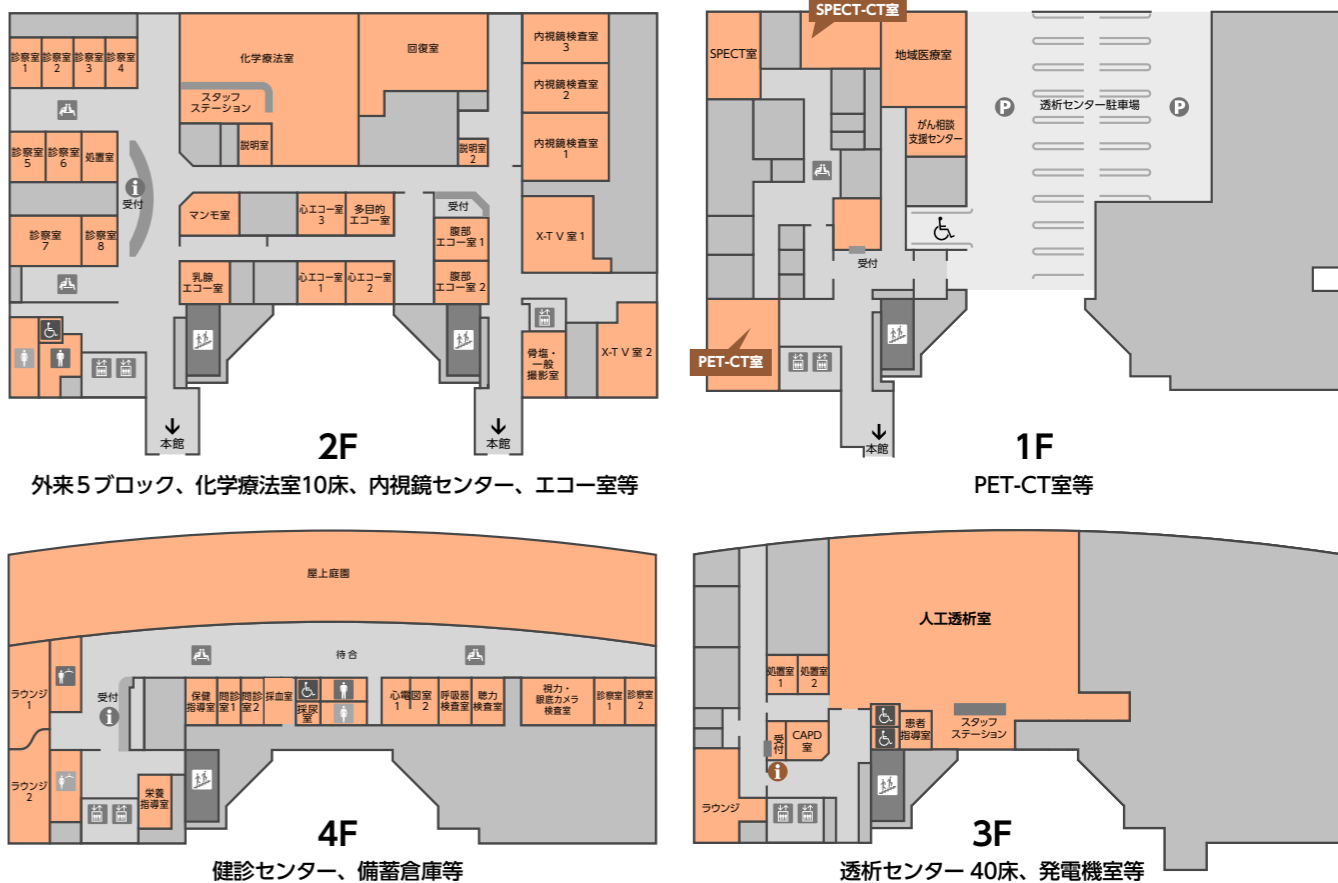
利用者の声

これまでは市外の病院で人間ドックを受診していましたが、今回市民病院で健診センターが開設されるので、一泊健診(人間ドック)を受診しました。最初は、健診センターの場所がわからず、立ち止まっていたところどうしました?の声かけで4階の明るく見晴らしの良い、広くゆったりとした健診センターに案内されました。

看護師さんのテキパキとした案内で、経鼻内視鏡検査も初めてで不安でしたが想像以上に楽でした。内視鏡のモニターを見ながら説明してくれるので大変わかりやすかったです。

総合所見でも医師のていねいな説明もあって、(おかげで)さしたる指摘もない健康体健康に意を強くしました。

健診センターで「脳ドック」や「プチ健診」などの様々な検査がほぼ一カ所で受診可能であることを広く宣伝してほしいと思います。(市内在住 60歳代男性)



※「怒(おもいやり)」の精神をもって、患者様の生命を尊重し、個人の尊厳を重視した医療を提供してまいります。